

かかりつけ医をもちましょう！ ～湖北地域の診療所のご紹介～

医療法人 下坂クリニック

長浜市下坂中町 177-6 TEL：0749-62-0080



理事長 西村 正孝 先生

診療科目 内科・糖尿病腎臓内科・透析センター



	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9:00～12:00) ※受付 11:30 まで	○	○	○	×	○	○	×
午後 (17:00～19:30)	○	○	○	×	○	×	×

※祝祭日休診

●市立長浜病院とのつながり

患者さまの健康維持、生命を守ることを最優先とし、専門性あるいは緊急性の高い医療を確保する必要があると判断した場合には市立長浜病院と緊密に連携し、迅速に対応することを心がけております。

●患者さんへのメッセージ

地域の医療機関や介護・福祉関係者と連携し、必要に応じて適切な医療へおつながします。身近な「かかりつけ医」として気軽にご相談いただける、地域に根ざしたクリニックでありたいと考えております。

●医院の特徴、診療で大切にしていること

私たちのクリニックは、「思いやりと献身」の理念のもと、一人ひとりの患者さまに寄り添い、その人らしく健やかに暮らせる毎日を支える医療の提供に努めております。

ながはま在宅クリニック

滋賀県長浜市八幡東町 266-1 TEL：0749-57-6781



院長 田辺 浩喜 先生

診療科目 内科



●患者さんへのメッセージ

地域の医療機関との連携を行っていますので、普段の『かかりつけ医』として併診していただくことも可能です。新規でご依頼の際は、電話での問い合わせの他、ケアマネージャーや訪問看護、地域医療連携室などにご相談ください。

●医院の特徴、診療で大切にしていること

高齢の方や持病により通院困難な方が、住み慣れた場所で療養生活を送れるように訪問診療にてサポートいたします。当クリニックで訪問診療を受けられている方には、24 時間 365 日の緊急時の対応を行っております。

●市立長浜病院とのつながり

連携機関として日頃から地域医療連携室と連携を図っております。新規にご依頼いただきました患者さまの退院前カンファレンスや、在宅療養中の患者さまの受診調整、入院された際の状態確認に来院させていただいております。

いつも あなたの すぐそばに

市立長浜病院 地域医療連携だより

令和8年8月1日号

No.257

理念
地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室



救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院 厚生労働省臨床研修指定病院 地域医療支援病院



謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。8月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けしますので、ご査収ください。 敬白

「確実な診断に基づいた標準的な医療」を、地域とともに ～呼吸器内科のご紹介～ 呼吸器内科責任部長 野口 哲男

当院呼吸器内科は、1995 年の開設以来、地域の先生方との密接な連携を診療の柱としてまいりました。本稿では、当科の診療理念と、日々の取り組みについて改めてご紹介させていただきます。

◆私たちの診療姿勢：家族に施したい医療を

当科では、あえて「特殊な治療」や「流行の最先端薬」を追い求めることはいたしません。私たちの基本姿勢は、確実な診断に基づいた、誰もが納得しうる「標準的な治療」を徹底することです。「もし自分の家族が病気になったら、どのような治療を受けてほしいか」、常にこの視点を持ち続け、患者さん一人ひとりに誠実に向き合っています。

◆専門性と多職種連携による包括的なサポート

当科では、肺がんをはじめ、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺疾患、肺炎など、多岐にわたる疾患を診療しております。

近年増加する肺がんについては、「地域がん診療連携拠点病院」である強みを活かし、呼吸器外科、放射線科、緩和ケアなど、各領域のエキスパートと密に連携したチーム医療を実践し、患者さんと納得のいくまで相談（SDM）をしています。

COPD や気管支喘息については、適切な吸入療法の定着が治療の鍵です。当院では開業医の先生方との「吸入指導連携」を積極的に推進しており、外来治療から在宅管理まで途切れのない支援体制を整えております。COPD に対しては、外来での治療に加え、約 2 週間の入院プログラムによる包括的呼吸リハビリテーションを実施し、患者さんの日常生活能力の維持・向上に努めています。

高齢社会における課題である誤嚥性肺炎については、迅速な抗菌薬の選択に加え、早期からのリハビリ介入を徹底し、QOL を損なわない治療を目指しています。

間質性肺炎については、安定時のステロイド、抗線維化薬などによる治療、増悪時には集中治療で回復をサポートしています。

◆地域連携の深化を目指して

日本呼吸器学会認定施設として、私たちはこれからも高い専門性を維持しつつ、地域の先生方との「顔の見える連携」を大切にしていきたいと思います。患者さんの管理について迷われる際や、専門的な判断が必要な際は、どうぞお気軽にご相談ください。地域の先生方と二人三脚で、この地域の呼吸器医療を支えていければ幸いです。今後とも、当院呼吸器内科をよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科からのお知らせ

～ハイドロゲルスペーサー（SpaceOAR）留置を開始しました～

平素より当院泌尿器科診療に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃より前立腺癌をはじめとする泌尿器科疾患の患者さまをご紹介いただき、心よりお礼申し上げます。

このたび当院では、前立腺癌に対する強度変調放射線治療（IMRT）に先立ち、直腸線量低減を目的としたハイドロゲルスペーサー（SpaceOAR）留置を開始しました。これにより、IMRT 施行時の直腸線量低減および直腸合併症リスクの低減が期待されます。今後、当院で IMRT を予定される患者さまにつきましては、病状や治療方針、患者さまのご希望を踏まえ、適応がある場合にはハイドロゲルスペーサー留置を検討してまいります。前立腺癌に対する放射線治療をご検討の患者さまがおられましたら、これまで同様、当院へご紹介いただけますと幸いです。

今後とも地域の先生方との連携を大切にし、患者さまにとってよりよい医療を提供できるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介

脳神経外科責任部長 山本 一夫

やまもと かずお



令和8年7月1日に赴任しました。以前、平成16年より6年間当院での勤務歴があり、その際は大変お世話になりました。

当時と比べると、自らの加齢以外に人口動態の変化、Pandemic、円安、働き方改革、AIの進歩など、医療に大きな影響を及ぼす事象が多く生じています。

そのような状況下で、湖北地域の脳卒中を始めとする脳神経疾患の医療の発展に寄与できればと思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

心臓血管外科副医長 島田 ゆうじ

しまだ



このたび7月より心臓血管外科に赴任しました島田ゆうじと申します。長浜市出身で、滋賀医科大学を卒業後、2年間の初期研修を経て、滋賀医科大学心臓血管外科に入局しました。

医師7年目に、育てていただいたこの地域で診療に携われることを大変光栄に感じています。地域の皆様に安心して心臓血管外科医療を受けていただけるよう、先生方との連携を大切にしながら、湖北圏の医療に貢献してまいります。よろしくお願い申し上げます。

開放型病床生涯教育研修会を開催しました



令和8年7月2日（木）に株式会社ツムラ様と共催で第362回開放型病床生涯教育研修会を開催しました。

第1部は、大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学 高橋 剛 先生に「消化器がん治療における漢方の役割・食欲不振に対する六君子湯を中心に」という演題でご講演いただきました。

第2部は、滋賀医科大学 消化器内科学講座 教授 岩下 拓司 先生に「癌診療における内視鏡の役割」という演題でご講演いただきました。

会場とWEBで91名の方にご参加いただきました。「臨床に基づいた講義内容で理解しやすかった」「治療を受ける患者さんのサポートができるよう活用していきたい」などの感想をいただきました。



湖北がんフォーラム 2026 を開催しました



去る6月20日（土）に、浅井文化ホールで「湖北がんフォーラム 2026」を開催しました。当日は悪天候にも関わらず、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。

今回のフォーラムは「制御性T細胞研究から見たがん治療」をテーマに、がんの治療法の一つである免疫療法の基礎知識や、ノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文先生が見つけた特別な細胞（制御性T細胞）の働きとがんとの関係、これを応用した新しい治療法について学びました。

第1部では当院腫瘍内科責任部長 竹治 智 先生から「がん免疫療法の基礎知識」の講演とともに長浜赤十字病院長 楠井 隆 先生、長浜市立湖北病院長 納谷 佳男 先生とともにご討論いただきました。そして、第2部ではノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文先生に「制御性T細胞とがん免疫」として、貴重な講演をいただきました。

参加された方からは、「ノーベル賞を受賞された方の講演を聴かせていただいて、貴重な機会をありがとうございました。経口薬剤ができればうれしい」「これからのがん治療に免疫療法が希望になるんだと感じました」「近い未来『がん』は『風邪』と同レベルの疾患になることを願っております」という感想をはじめとして、参加者から思いのこもった感想を多数いただきました。

なお、準備が整いましたら、インターネットでフォーラムのアーカイブ配信（動画配信）を行う予定です。病院のホームページで案内いたしますので、ぜひご視聴ください。



循環器市民公開講座を開催しました



令和8年6月28日（日）に市立長浜病院で循環器市民公開講座を開催しました。「人生100年時代 心臓を健やかに保つ秘訣 ～今、私たちができること～」をテーマに、当院の循環器内科医師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士の4名が講師となり、心不全の予防・早期発見・治療について講演しました。

当日は86名の方にご参加いただきました。参加された方からは、「生活習慣を改善するポイントをたくさん知ることができた」「運動や減塩の継続が大切だと思った」「心不全の治療は、医師の先生だけでなく、多職種のチームの皆さんが支えてくださるので心強い」など、高い評価を多数いただきました。

今後も地域の皆さまの健康に役立つ講座の開催に努めてまいります。



医療従事者研修会の開催

■ 第365回開放型病床生涯教育研修会 兼 第16回化学療法研修会

日 時：令和8年9月3日（木）17：30～18：30
テーマ：『がんゲノム医療

～国内の動向と当院の状況～』

講 師：竹治 智 先生（腫瘍内科責任部長）
山岸 美紀 先生（がん看護専門看護師）

※詳細は別紙チラシをご参照ください。

医師の異動（8月）

■ 着任（令和8年8月 1日付）
ありません

■ 退職（令和8年7月31日付）
ありません

